



相手意識と自我の成立

一歳のこどもの先に広がるコミュニケーションは、物や行動をシンボルやサインに置き換えてイメージする力をもとに、「発信すれば相手が受信してくれる⇔相手の発信に自分の気持ちを向ける」という「相手」ととの関係を意識する力と、「したい(欲しい)⇔したくない(いらない)」という対の気持ち「自我の成立」を組み合わせて展開していきます。

そこから先、相手意識と自我が織りなす数年のあゆみの中で、あいてや周りとの間で自我を調整する力を身に付けていきます。

朝の会で半円の中心にいる発信者(スタッフ)に気持ちを向け続ける力や、対面あそびができる力は、相手意識を成長させる大切な栄養になります。合わせて、あそびや生活の中で、うまくいかないことをうまくすめようとする気持ちが自我を成長させる栄養になり、気持ちを立て直したり調整する力を大きなものにしていきます。いずれも「楽しさ」が土壌となることはいまでもありません。

今年も、それぞれのこどもたちの心に、そうした栄養が蓄積していくように、日々の活動の組み立てに努めたいと思います。

12月活動のようす

クリスマス会



スティックさしゲーム 反転オセロゲーム

たま入れ競争



おあつまり

Tちゃんのサイン交換

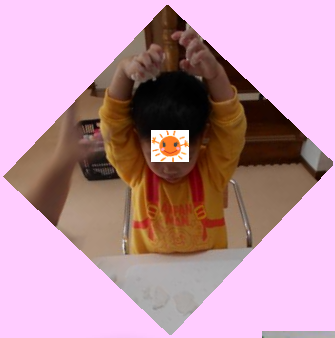
新年に入って、Tちゃんの「うなずき」をよく見かけられるようになりました。

「〇〇する？」と聞くとうなずきが返ってきます。同じころから、相手の口元にご飯やおやつを押し付けるようにもってきて、「食べてよ」と言わんばかりに相手に向けて/アーン/と口を開けて自分の意思を伝えようとするなど、応答やサインのしぐさははじまりました。

指示や促しの受け止めは、現在、写真カードやことばをてがかりにしており、要求の発信は、直接手引きや指さしに頼っているので、サインの交換や、/ハイ/と「イヤ」につながるかわり方へと広げていきたいところです。



しらたま団子
や
パフケーキ
を
つくりました



せいさく活動

ヌルヌルタイム



フロア活動



公園
児童館

